



ふるふるふる Mibu だより

発行：壬生町教育委員会事務局生涯学習課

〒321-0292 壬生町通町 12-22

TEL 0282-81-1873 / FAX 0282-82-0935

E-mail: gakusyu@town.mibu.tochigi.jp

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、下記の行事が中止となっていますので、今年度予定していた下記におけるボランティアスタッフ（中学生及び青少年による地域活動）の募集は行いませんのでお知らせします。

・ **絵本と音楽によるクリスマスコンサート** （令和2年12月） **中止**

・ **ハートふるふる days <第2弾>【ボランティアスクール】**（令和2年12月） **中止**
企画：子育て支援センターひよこ、児童館、壬生町社会福祉協議会、
子育て支援グループ「ポケット」等



例年、募集している壬生町二十歳の集い（成人式）中学生スタッフにつきまして、今年度の募集は行いませんのでお知らせします。

※第72回壬生町二十歳の集い（成人式） 令和3年1月10日（日）

【令和元年12月開催 絵本と音楽によるクリスマスコンサートの内容】

- ・ハンドベル演奏 ベルフラワー
- ・読み聞かせ お話アライグマ
- ・オカリナ演奏 ～いっしょに歌おう～
- ・壬生町少年少女合唱団
～ディズニー・ミュージカルソング～



「令和2年1月開催 二十歳の集い（成人式）中学生スタッフのふりかえり」から

- ・自分が主役でなくても、二十歳を迎えた方へのお祝いの気持ちを持って活動することができました。将来、自分が主役の立場になったら、たくさんの方にお祝いされるような人になりたいです。
- ・今回、初めて地域活動に参加しました。成人式という場に自分たちが参加し、貢献できて嬉しく思います。新成人の方に「ありがとう」と言ってもらえたので、参加できてよかったと思いました。



『とちぎの慣習・ことば集 ～のこしていきたい つたえていきたい』より

とちぎ人の想い～（栃木県教育委員会）』より

～ しもつかれ ～

はつうま（2月最初のうまの日）は、豊年を祈る稲荷神社の祭りの日であり、栃木県では、しもつかれを作る風習があります。正月の塩引き鮭の頭、節分の大豆、大根やニンジンなど、その季節に手に入る食材を煮込んだ料理で、食べ物をむだにしない文化として伝わっています。



< しもつかれの説明 >

「しもつかれを7軒食べると中風※にならない」といわれるほど、栄養満点の料理です。

また、「各家庭によって味が違う」といわれ、お互いに味比べとして交換する風習もあります。

給食のメニューになっている地域もあります。鮭の頭は正月に食べた鮭、大豆は節分に煎った福豆など、その季節に手に入る食材を使って作られたしもつかれは、「食べ物を無駄にしない」栃木県人の智慧が生み出した優れた郷土料理といえます。 ※中風…脳内出血などの病気



ふるふるCafé ～地域活動に励んだ中学生と青少年の交流会～

例年、年度末に地域活動に励んだ中学生と青少年の交流会として、ふるふるCaféを開催していますが、昨年度（令和2年3月開催）は残念ながら中止となりました。交流会ではスライドを視聴しながら、1年間の活動を振り返ったり、クイズやレクリエーションをしたりして交流を深めています。今回は、交流会で行っている【ふるふるクイズ】を出題しますので挑戦してみてくださいはいかがでしょうか。

【問題1】

愛称：ふるふるMibuの『ふるふる』とは？ ⇒ ふれあい、（ ）. あられる

【問題2】

壬生町カルタの「む」は？ ⇒ 昔から 栄えた土地だ （ ）がいっぱい

【問題3】

県都市町対抗駅伝競走大会（令和2年1月26日）で、壬生町チームのたすきは何色だったでしょう？

（※正解は、壬生町教育委員会ホームページの生涯学習課に掲載します。👉）

